

学校運営方針

2024年4月1日 校長 松村章生

□校訓 『自主・自律』

自ら考え、周りの状況やものの善し悪しを判断し、自分をコントロールし、責任を持って行動できる人間になろう

□教育目標

「人」と「命」と「思い」を大切する人間を育てる

☆大切にする「人」とは……

今の『自分』と未来の『自分』
自分の周りにいる一人ひとりの『仲間』
社会の中の『すべての人々』

☆大切にする「命」とは……

生きとし生けるものすべてのたった一つの『生命』
「命」をつなぐための『食育』
「命」を支えるための『環境』
「命」を守るための『健康』

☆大切にする「思い」とは…

夢を叶えるための『学力』と『体力』
生きる権利を守る『人権感覚と道徳心』
人と人がつながる『心の絆』

□めざす学校像

自分の思いを安心して伝えることができ、仲間の思いを誠実に受け止め、それに応えることができる、誰もが安心して生活できる居場所

□教育活動の三つの柱

学校は、子どもたちのためにある

学校(教職員)は、チームで動く

学校(教職員)は、学び続ける姿勢を持つ

□ 「チーム誉田」の思いと願い

誉田中学校では、生徒や教職員など、本校で生活するすべての人を「チーム誉田」と呼んでいます。「チーム誉田」では、一人ひとりの思いや立場を大切にし、それぞれの歩幅は違っても、いつも前向きに、ともに歩んでいきたいと考えています。

「チーム誉田」では、中学校で習得する『学力』とは、授業の中で学習によって身につける力のもとより、卒業してから社会の中で『生きる力』であると考えています。『生きる力』の第一歩は、「人とつながる力」です。それを実現するために、「チーム誉田」では、授業をはじめ、さまざまな場面で、班活動を取り入れています。また、人とつながるためのコミュニケーション力をつけるために、自分の思いを表現する場面や、人の思いを受け止める機会をつくっています。班ノートやクラスミーティングが、その取り組みの代表です。生徒も教職員も、誰もが自分の思いを安心して伝えることができ、その思いを誠実に受け止めて、それに応えることができる「チーム誉田」でありたいと願っています。

また、「チーム誉田」は、地域の学校として、子どもにも、保護者や地域の方にも愛される学校になりたいと考えています。

保護者や地域の方は、「チーム誉田」の一番の応援団です。子どもたちが、誉田中学校を卒業して社会に羽ばたき、さまざまな困難に遭遇した時に、それを乗り越えるための基盤は、「チーム誉田」での学びであり、また心の支えになるのは、「チーム誉田」の一員であったことや、この地域で育ってきたという「誇り」だと思えます。子どもは、地域と保護者の方とともに、「チーム誉田」で育てていく、そんな誉田中学校区でありたいと願っています。

時代の流れとともに社会は変化していきます。それに伴い、その時の流行や社会情勢によって、人の価値観や考え方も変化していきます。しかし、人が人として生きるために大切にしなければならないことは不変だと思えます。それは、「人の存在価値」を大切にすること、生きとし生けるものの「命」を大切にすること、そして人と人が強い絆を紡ぐための「思い」を大切にすることです。これまで受け継がれてきた「チーム誉田」の伝統を『継承』しながら、何事についても前向きに歩み続けながら、社会の変化とともに『進化』していくとともに、不易である「人」と「命」と「思い」を大切にする『志』を子どもたちに持ってもらうために、すべての教育活動を推し進めていきます。